

Ⅲ 申告書等の書き方（記入例）

1. 作成していただく書類

● 償却資産申告書（償却資産課税台帳）・・・・・・・・記入例 9ページ

この用紙は、令和7年度の申告に基づいて、住所・氏名・取得価額が記載してあります。（初めて申告する方は、無記載のためすべて記入してください。）

記入例を参照の上、必要事項を記入してください。なお、内容に変更等がある場合は、修正箇所を二重線で抹消の上、正しい事項を朱書きしてください。資産に増減がない場合は、申告書の「18 備考」欄に「増減なし」と記入してください。

平成28年度課税分の申告から、個人番号（マイナンバー）・法人番号の記載欄が新設されました。個人事業の場合は、個人事業主の個人番号を、法人の方は、国税庁から通知された法人番号（13桁）を「3 個人番号又は法人番号」欄に記入してください。

● 種類別明細書（増加資産・全資産用）・・・・・・・・記入例 10ページ

この用紙は、令和7年度の申告に基づいて、全資産が記載してあります。（初めて申告する方は、無記載のためすべて記入してください。）内容に変更等がある場合は、変更箇所を二重線で抹消の上、変更事項を朱書きしてください。

令和7年1月2日から令和8年1月1日までの間に取得（増加）した資産については、増加した資産の種類、名称、数量、取得年月、取得価額、耐用年数を記入の上、増加事由欄の該当する番号に○をつけてください。

なお、課税標準の特例の適用がある資産を取得した場合、「摘要」欄に適用条項を記入してください。

● 種類別明細書（減少資産用）・・・・・・・・記入例 11ページ

この用紙は、令和7年1月2日から令和8年1月1日までの間に減少した資産の種類、名称、数量、取得年月、取得価額、耐用年数を記入の上、「減少事由及び区分」欄の該当する番号に○をつけてください。